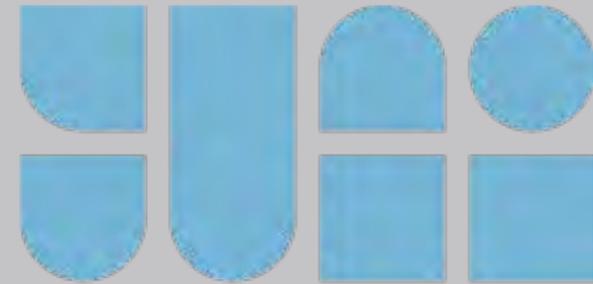


12

vol.552  
December 2020

昭和63年1月18日  
第三種郵便物認可  
12月号/令和2年12月1日発行

特集  
CROSS TALK  
中途採用職員座談会



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
www.yuai.jp

ゆうあい

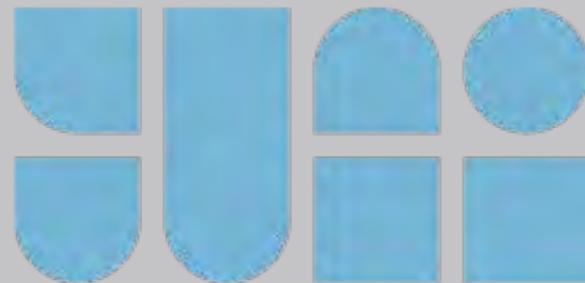
あなたがいて、わたし、がある。

発行日 偶数月1日  
価格 1部160円  
発行者 大場公孝  
発行者 社会福祉法人侑愛会  
発行所 北海道北斗市遍分7丁目8番9号



<https://www.yuai.jp/>

社会福祉法人侑愛会



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
www.yuai.jp

## 「施設長に就任して」

おしま学園 井出尚久



ゆうあいの郷を初めて訪れたのは、平成3年5月の施設実習のときでした。大きなカバンを抱えて渡島当別駅からゆうあいの坂を登り、到着した施設の玄関で出迎えてくれた方に挨拶をしました。「よろしくお願ひします」と挨拶をしたあと、しばし無言がつづきました。「あれ、どうしたんだろう、、、」と高まる緊張のなか、まもなくして職員の方が現れました。「ああそうか、自分の目の前にいる人は利用者の方だったのか。分からなかったあ、、、」という記憶が今も残っています。その後、入職を希望し、翌年の平成4年4月より、第二おしま学園に配属となりました。

最初のころは、何をどうすればいいのか分からずに、「これでいいのか?」と直面する業務の一つひとつに不安を感じる日々でした。つらく不安なこともありましたが、3年ほど経つころには出来ることが増えていき、ようやく周囲を観察する余裕が生まれてきたように思います。

そんななか、当時の副園長からの「無知は罪である」という言葉に衝撃を受けました。同氏からは佐々木正美先生の自閉症療育ハンドブックを支援の基本として推奨され、「暗記するように」と言われました。三度通して読んでみましたが、全く記憶することが出来ません。直感的に考えて動くタイプの自分には、本の丸暗記は合ってなかったんですね。知識が伴わず、理解不足で支援につまずき、行く道が見えないことも多々ありました。振り返ってみると、そこにいる利用者の特性に合わせた支援と、自分が必要だと思った支援が違っていたときは、上手くいってなかったのだと思います。ですから、考えに考えた結果、本人の状態に合った支援が提供できたときにはとても嬉しかったです。そうした実践は地道な作業が多いものでした。自分は頭が固く、柔軟に物事を考えられない傾向があったので、色々な視点で物事を考えられるように普段関心の無いことにもなるべく目を向けるようにしてみました。このころは、何をすることも自信がありませんから、暗記できなかったハンドブックを何度も読むようにしていました。覚えた知識を確かめるように実践に生かしていったこの時期の取り組みが今の自分の基盤となっているように思います。

平成14年度に自閉症・発達障害支援センターあおいそら(現在の発達障害者支援センター)に異動し、不特定多数の年齢を問わない対象者に関わる専門的な業務に変わりました。次第にそれぞれの地域で様々な立場の方々が、色々な形で自閉症の方たちに支援をしていることが分かってきました。こんなに同じ方向を見ている人たちがいる、こんなに楽しそうに支援をされているといったことに触れる機会がどんどん増えていきました。周囲のスタッフや関係者にも恵まれ、施設に勤務していただけでは分からなかった貴重な経験をさせていただくことができ、大変勉強になりました。

平成20年度よりおしま学園に配属となり、入職から28年目を迎えて今年度からは施設長の任を受けました。こんな歴史のある施設で大変な使命を受けた、という思いが先行しております。これまでの支援経験の中から、特性理解に合わせた関わりや、適切な学習の場が提供されると様々な面で良い方向に変化することが分かっています。直接子どもたちと関わる現場の職員が支援結果に確かな実感を持てるようにしていくこと、そして少しでもこの人たちに関わる楽しさを感じてもらえることを伝えるのも自分の役割の一つだと思っています。通過施設であるおしま学園は、児童期の子どもたちの生活を支える最後の砦、と思われがちです。確かにそうした意味合いも含まれていますが、どのように活用するかは利用される方によって異なると思います。地域生活に主体を置いた中で、早い段階から活用していただくといった方法もあります。どのような関わりであつても、子どもたちの成長をともに見守っていきけるような関わり方が出来るといいなと思っています。

11月から30名で再スタートを切ったおしま学園ですが、その時々ニーズを把握するよう努め、これからも地域から必要とされるような施設を目指すべく、私も微力ながら頑張っていきたいと思っています。



# CROSSTALK 中途採用職員座談会

なぜ、私たちはゆうあいを選んだのか  
Why did we choose Yuai?



写真左から

星が丘寮支援員／平成30年入職

Hanamaki Takashi 花巻 貴

新生園支援員／平成30年入職

Hamanaka Tatsuya 濱中 達也

ぱすてる相談員／平成27年入職

Shoji Hiroko 庄司 寛子

まるやま荘支援員／令和2年入職

Mori Kota 森 厚太



司会、メインインタビュー  
大場 靖子(法人常務理事)

日付 令和2年11月6日  
場所 地域交流ホーム夢  
文責 小谷 高大

**濱中** 今でも福祉の仕事はマイナスイメージが多い。人の役に立つ仕事がしたいという人はもっと多くいるはず。そういう人たちが安心して働めることのできる環境づくりを更に進めていけばいいのでは。今の時代でいえば、子育て世代が働きやすい仕組みでしょうか。

**庄司** こんなに、利用者一人ひとりのために頑張っている法人は少ないと思います。もっと、地域社会にゆうあいの良さをPRしては。また、ボランティアなどの経験は、障がいのある方々のマイナスイメージを払拭する機会となります。高校生なども気軽に交流することのできるような場がもっと増えるといいですね。

**花巻** インターネットですぐに情報が取得できる時代になっています。色々なツールを使って、社風や利用する方々の様子など

福祉の仕事を目指す若い人は、少子高齢化の影響などもあって確実に少なくなっている。そうしたなか、中途採用する職員の確保は今までに増して大切となっている。転職を考える人たちに選ばれる法人であるためには、定着(安心して働いてもらうこと)の出来る環境や待遇、そして育成(職業人としての成長を後押しするキャリアパス制度)の視点が欠かせない。今回集まって貰った4人の声を通して、ゆうあい働くことの魅力について考えてみたい。

転職を考えたいきっかけは？

**森** 旧上磯町出身。大学進学で札幌に出ました。卒業の仕事を終って、前職では福祉の仕事に就きました。同じ地元出身の妻と結婚して地元に戻ることになったのですが、ホームページでゆうあいに興味を持ち、就職説明会に参加しました。非常に丁寧な対応で好印象を持ちました。

**濱中** 函館生まれです。幼稚園教諭や介護の仕事などの経験をしました。地元に戻るときにゆうあいに勤める友人から声をかけてもらったのが転職の動機です。学生時代に、星が丘寮で実習して楽しかった記憶も後押しとなりました。

**花巻** 苫小牧の出身です。前職では、介護のケアマネジャーをしていました。家族持ちの私が転職で重視したこと。一つは、家族を養うのに困らないような収入が見込めること。一つは、子どもが伸び伸びと育つこととの出来る環境です。

**庄司** 大学を出たあと、道内の私立学校での教員を9年間務めました。たくさんの方の教え子たちが福祉の仕事について生き生きと働く姿を目にして感動することがよくありました。「私も福祉の現場の仕事をした」と転職を考えたときに、地元で有名なおしまこローのことを思い出しました。

入職しての率直な感想は？

**庄司** 職場の雰囲気がとても良いです。上司や先輩も親身になって一緒に考えてくれ

**森** 知的障がいや自閉症について一から学んでいます。ゆうあいに転職して数か月間で、前職に数年間いたときに参加した研修の数をすでに超えたことに驚いています。

**濱中** 法人の方針について、毎年「指針」で示されることがございます。過去の仕事では、十分に現場の職員まで示されないこともありましたが、ホームページが充実していたり、就業規則などもいつもきちんとしてくれて、情報共有の仕組みが優れていると感じます。

**花巻** 研修に参加して学ぶだけではなく、キャリアアップとともに講師を経験する機会も用意されます。研修をする側に立つことでしか得られないことも多いと思うので、すばらしい仕組みだと思いました。

ゆうあいの課題について感じることをあれば教えてください

について情報発信する工夫も求められていくと思います。

**森** ゆうあいに限らず、利用者の方々と関わる際には、リラックスしてもらえような表情や仕草、また相手を尊重する基本姿勢を大切にしたいものです。

**オン(仕事)とオフ(生活)について教えてください**

**森** 引き継ぎがしっかりしているので、休日には安心して休めます。前職では、休日にも仕事の連絡が入ることも珍しくはありませんでした。北斗市は子育て支援が充実していて暮らしやすいです。

**花巻** 要領が悪くて残業になりがちですが、上司が様子を見て「帰らなさい」と、オーバーワークにならないように勤怠管理してくれました。心身の健康を崩さないのも、こうしたサポートのおかげです。道南は都会と田舎の両方の良さがあるので、子育て世代が住むにはちょうど良い環境だと思います。

**濱中** 昇格試験の制度により、キャリアアップができるので励みとなります。仕事は、オンとオフがはっきりしているので、メリハリをつけやすいです。住まいのある函館市は大好きな海もあって自然が豊かだし、イベントも多いのでわくわく感がある街です。家族の評判も上々です。

**庄司** 勤めてしばらくは、先輩や上司があらゆる面でサポートしてくるので、安心して経験を積むことができました。道南は美味しいところが多いです。休日グルメに、スイーツと魚介料理はお薦めですね。また、土地の訛りが残っていて、そのイントネーションの温かみにホッとします。



社会福祉法人侑愛会  
学校法人ゆうあい学園  
[www.yuai.jp](http://www.yuai.jp)